

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の取り組みについて

田村市地域包括支援センター



TAMURA-CITY

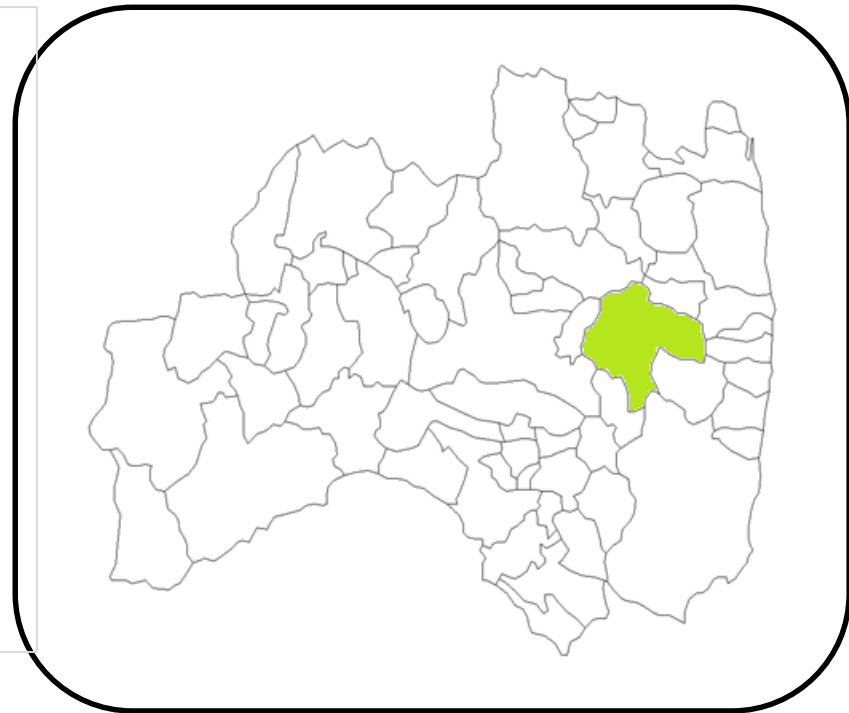
# 田村市の概況

田村市は、阿武隈高原の中央に位置し、福島県の中通りにおいて浜通りとの結節点となる地域です。

市の面積は458.33平方キロメートルで、土地利用区分をみると、全体の約67%を山林が占める典型的な中山間地域です。

## 【平成29年4月1日現在】

- 人口 38,094人
- 65歳以上高齢者人口 12,198人
- 高齢化率 32.02%
- 要介護認定率 18.6%
- 第1号保険料月額 5,400円
- 認知症地域支援推進員（平成28年～）  
1名（包括職員）



# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

- H26年度より田村市主催で「**地域包括ケア推進担当者会議**」を開催。保健、医療、福祉の関係機関、警察、消防の担当者に参加していただき、地域の課題について話し合う。H26年度は「田村市認知症安心ガイド」(認知症ケアパス)を作成。
- H27年度からは地域包括支援センターが事務局となり、「**認知症の人を支える地域づくり**」をテーマに活動。民生委員の各支部会長にも参加していただく。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

**「認知症の人を支える地域づくり」**

① 高齢者世帯や認知症の方の情報共有



田村消防署の案を基に「緊急情報カード」  
を作成

② 認知症高齢者が徘徊して行方不明になっ  
た場合の対応



山形県寒河江市の取り組みを参考に  
**「田村市高齢者おかえり支援事業」**

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

## 「認知症の人を支える地域づくり」

- 認知症の高齢者の方が徘徊して行方不明になるケースがある。早期発見の方法を地域包括ケア推進担当者会議で協議した。

## 「ヒント」

H27年度認知症地域支援推進員研修で、たまたまグループワークで山形県寒河江市の包括職員と同じグループになり、寒河江市の「無事かえる」支援事業を知る。  
→とりあえず名刺交換しとこう。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

- 寒河江市の「無事かえる」支援事業とは。



徘徊高齢者を事前に登録。行方不明時に協力機関に情報提供を行い、早期発見を目指す。また、「どさ、いぐなやっす？」ひと声運動を実施。徘徊高齢者に、地域で声かけして行方不明を予防する。



田村市でもできないかな？

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

## 【行方不明者の捜索協力の周知方法】

- 寒河江市の「無事かえる」支援事業では、山形県警が協力機関にメール配信。

田村警察署ではFネット(FAXで行方不明者や犯罪の情報提供)があるらしい。  
それを利用できないかな？



田村警察署の担当者に相談。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

警察署：協力はしたいけど、田村郡(田村市、小野町、三春町)管内で、田村市だけのFネット運用は難しい。メール配信もネット環境の問題で、できないとの返答。



行政と警察署がどのように連携を図っているのか？

介護福祉課係長「とりあえず寒河江市に視察に行ってください！」(名刺もらっていてよかった。)寒河江市の包括に連絡し、H27年12月17日に視察に行ってきました。



# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

## 視察研修で学んだこと

- 無事かえる支援事業の詳細について。
- 警察との協力体制が重要。信頼関係を構築していく必要性。
- 市民への啓発、声掛け運動が重要。
- おせっかいくらいの支援が必要。

などなど、それ以外にもたくさん  
のことを学ぶことができました。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

## ◎最大の課題

田村市ではどのようにして徘徊者の情報を協力機関に提供するか！？



介護福祉課係長がひねり出した答え。それが、

**「田村市情報メール配信サービス」**

# 田村市高齢者おかえり支援事業 の経過

## 「田村市情報メール配信サービス」

防災・防犯などに関する情報を、メール受信登録者にメールでお知らせするサービス。H28年4月より運用開始。



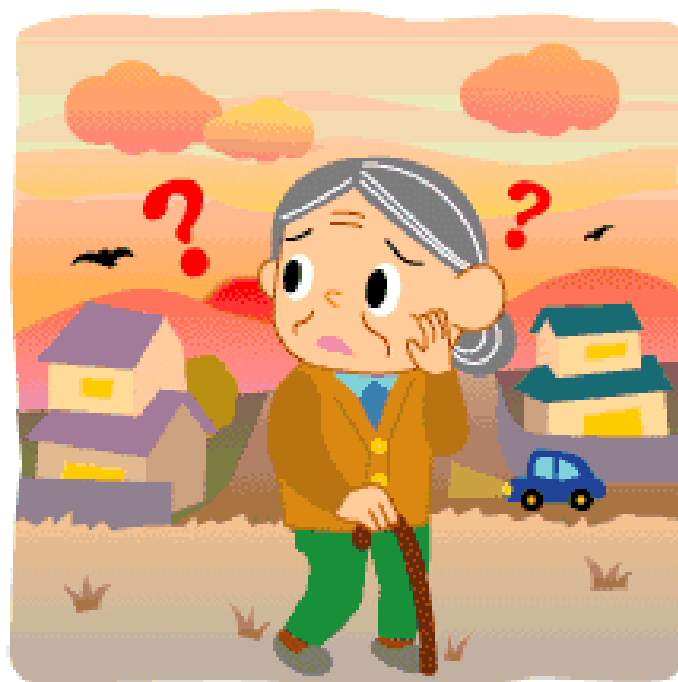
これに行方不明高齢者の情報も配信してもらおう。介護福祉課から生活環境課に交渉。OKの返事。



要綱を整備し、H28年7月より田村市高齢者おかえり支援事業開始！

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

- 認知症の高齢者の方が徘徊して行方不明になった時に、関係機関が連携して捜索を行い、高齢者の早期発見と安全を図るためのネットワークです。



# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 1. 登録制

ポイントは徘徊リスクの高い方の情報を事前に登録するということです。

行方不明になった際に検索する為に登録した情報（氏名、生年月日、写真、特徴など）を活用します。登録情報は**市役所**で管理します。

登録の申請はご家族が行い、田村市役所、各行政局、田村市地域包括支援センターで受け付けます。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 2. 申請後の支援

家族が登録申請をしたら、地域包括支援センター職員が本人宅訪問し、**聞き取り調査と本人の写真撮影**を行います。

あわせて「見守りグッズ」をお配りし、常日頃の見守りの仕方等について具体的にアドバイスをします。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 3. 見守りグッズ

### ① ネームプレート



裏面は御守り

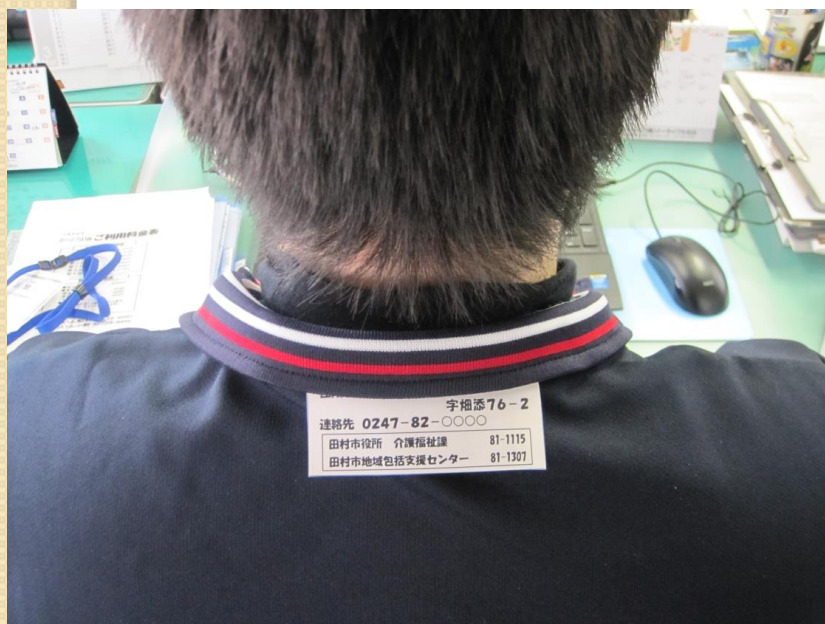


# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 3. 見守りグッズ

### ②アイロンプリント

登録者宅にアイロン持参して貼ってきます。





# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 3. 見守りグッズ

### ③靴用ネームシール&反射シール



### ④名刺



# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 4. 行方が分からなくなったとき

家族が、田村警察署、各地域の交番  
に行方不明者の届け出をする。



田村警察署から田村市へ、行方不明  
高齢者の情報を照会。



田村市から田村警察署へ行方不明高  
齢者の登録情報を提供。



# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 4. 行方が分からなくなったとき

田村警察署から田村市へ、行方不明高齢者のメール配信と防災無線による広報の依頼。



田村市からメール配信システムで行方不明者の登録情報を協力機関に一斉送信。防災無線でも協力の呼びかけ。



各機関が情報をもとに搜索協力をする。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 5. 無事が確認できたとき

高齢者を発見した場合は、速やかに田村警察署に連絡する。



田村警察署から田村市に報告。田村市からメール配信システム、防災無線で協力機関へ発見の報告をする。

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 6. 協力機関

- 田村市役所、各行政局
- 田村消防署、消防団
- 民生委員児童委員
- 介護保険事業所
- 医療機関
- 認知症サポーター
- 徘徊高齢者の捜索に協力してくれる一般市民
- 田村市社会福祉協議会 など

# 田村市高齢者おかえり支援事業 とは・・・

## 7. 地域づくり

メール配信や防災無線は行方不明者の  
捜索に役立つかもしれませんが、一番大  
切なことは、**普段からの声掛け**です。

視察してきた山形県寒河江市では、  
メール配信システムと合わせて、声掛け  
運動を広めることで、行方不明を事前に  
防ぐことができた事例が増えたそうです。  
そのような地域づくりを進めていくこと  
が、**「田村市高齢者おかえりネットワー  
ク」**の目指すところではあります。

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【現状】(H29年11月15日現在)

- 徘徊高齢者の登録者数：25名
- メール受信登録者数：638名
- 登録者が徘徊して検索依頼をした件数：1件

## 【課題】

- 市民への周知がさらに必要。
- 写真の配信ができない。
- 田村市外へ徘徊した場合にどうするか。

## 【今後の予定】

- **H29年度中に徘徊模擬訓練の実施。**
- 行政区の集まりに介護福祉課職員が出席し、ネットワークの周知と協力依頼する。
- 一般企業へのネットワーク協力依頼。

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【徘徊模擬訓練の実施】

### ① 目的

「田村市高齢者おかえり支援事業」の『情報配信～搜索協力～発見～声かけ～通報』の情報伝達が有効に機能しているか、模擬訓練を行い確認する。模擬訓練では、特に行方不明の高齢者の情報が正しく地域住民へ伝わったか、発見した際に適切に「声かけ」できたかを確認する。



# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【徘徊模擬訓練の実施】

### ②実施日

平成29年10月26日（木）

13：30 ～ 15：30

### ③訓練区域

田村市役所

～船引駅周辺

お互いの声かけが地域の見守りに！一緒に参加しませんか？

### 徘徊模擬訓練 in 栄町

(田村市高齢者おかえり支援事業 徘徊模擬訓練)

日 時：平成29年10月26日（木）  
13：30～15：30 小雨決行（荒天時室内）

場 所：【集合場所（本部）】 田村市役所多目的ホール  
【捜索エリア】 田村市船引町 栄町地区

高齢化社会を迎え、認知症の方が増えてきています。もしも自分の地域で認知症の方が行方不明になったらどうしたらいいのだろうか。地域で高齢者の方が行方不明になったときに早期に見発見できる仕組みづくりや、認知症高齢者に対する正しい接し方を学ぶことを目的に訓練を開催します。

**訓練スケジュール**

- 13：00 受付開始
- 13：30 集合・初エタパス
- 14：10 訓練開始
- 14：50 訓練終了
- 15：00 開会
- 15：30 終了

**訓練の内容**

認知症の高齢者に向けたスタッフがあらかじめ決められた地区を徘徊します。発見したら、安心してもらえるような声かけをお願いします。その後、本部まで連絡し訓練終了です。

**田村市情報メール配信サービスへご登録ください**

徘徊訓練当日に行方不明者の特徴をお伝えするため、訓練メールを配信します。

① 下記 QRコードを読み取るか、下記メールアドレスを登録入力し、登録メールを受信してください。  
② 登録メールが届きますので、メール内のURLにアクセスしてください。  
③ URLをクリックすると、「徘徊模擬訓練」の画面が表示されますのでお好みの地域と、配達を希望する項目を選択し、「登録する」のボタンを押してください。登録される際に「利用規約」を確認の上、同意を申請して登録してください。  
④ 登録手続き完了メールが届けば、登録完了となります。

メールアドレス：entry@mail.bousai-tamura.jp  
QRコード：[QRコード]

**申込方法**：申込書に必要事項をご記入の上お申し込みください。  
【申込期限：10月19日（木）まで】

**申込先・問い合わせ**：田村市地域包括支援センター 電話1-1307  
田村市介護福祉課 電話2-1115

**徘徊模擬訓練 申込書**

参加者氏名： \_\_\_\_\_

連絡先（電話番号）： \_\_\_\_\_

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【徘徊模擬訓練の実施】

### ④ポイント

- 事前に、区長さん、地区の民生委員、商工会、老人会に主旨を説明し、協力を依頼した。
- 地域住民の参加者の募集は、回覧板を利用(2回実施)。電話でも参加呼びかけ。
- 参加申込書にて参加予定者の確認。
- 日中でも比較的人が多い、駅前商店街を中心に行った。
- できるだけ多くの参加者に声掛けを体験してもらえるように、徘徊者役を3名配置した。
- 警察署の方に、通報の受付対応をしていただいた。

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【徘徊模擬訓練の実施】

### ⑤訓練の流れ

13：00 受付開始

13：30 開会・オリエンテーション

①警察署：徘徊搜索の現状と搜索依頼の方法

②包括：声掛けの仕方(寸劇)

14：10 訓練開始(メール配信)

14：50 訓練終了

15：00 閉会式

参加者からの感想、意見

15：30 終了

# 田村市高齢者おかえり支援事業

模擬訓練の様子





# 田村市高齢者おかえり支援事業

模擬訓練の様子



# 田村市高齢者おかえり支援事業

模擬訓練の様子





# 田村市高齢者おかえり支援事業

- **結果**

①参加者：23名

②通報受付回数：16回

③声掛けできた参加者：18名

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【参加者の感想(アンケートから抜粋)】

- なかなか難しい。模擬でなかったらできるかどうか心配です。
- 声掛けのかけ方など、前からおどろかせないように、静かに声をかけることなど勉強になりました。
- 今日は二人だったのでできましたが、一人では不安に思う。
- 声をかけるのは容易でしたが、本部に連絡(TEL)した時の方が、容易に明瞭に連絡できませんでした。
- 声掛けのタイミングがわかった。
- 認知症を理解するのも、声掛けするのも難しい。
- 地域の住民の方から「こんにちは」「天気がいいね」と声を掛けられ、ここの地区の方々は見守りができているのではないか？と思いました。
- 実際に行方不明になった時を想定した練習ができたと思います。



# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【参加者の感想(アンケートから抜粋)】

- 今回は訓練なので、スムーズに声をかけられたと思います。認知症の方に出会ったら、今日の訓練を参考にして勇気を出して声をかけられそうな気がしました。
- 徘徊者かどうか、声をかけるまで不安であったが、まずは声をかける勇気が必要と思う。
- 前方から出会ったので声かけ易かった。声掛けにすぐ応じてくれた。天気も良かったのであせらず、気分よく声掛けできたと思う。が、実際はこの逆がほとんどだと思うので、今日の訓練が活かされるよう心がけたい。
- あいさつから始めたけど、名前を聞くのを忘れてたり、なんとなくとまどいがあり、訓練とはいえむずかしいと思いました。
- 真正面からお会いできたので、スムーズに声掛けできたが、ひとりの場合など声掛けをためらわないよう、3つの「ない」場面を常日頃より頭に入れておき対応、協力していきたい。

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【参加者からの意見(抜粋)】

- ・一人の方は知らない方でしたが、スタッフがいたのですぐわかりました。徘徊の方を、顔を知られていない市役所の方に頼んだらいかがですか。目の見えない方の役もあつたらよい。
- ・服装が自然すぎて、もう少し特徴がほしい。
- ・捜査場所の捜し方が広くて大変でした。（せまい路地裏もあるので）
- ・残念ながら一度も声かけることなく終了しました。見つけたグループは、何度もさがすことができたようでしたが。
- ・メールの情報とメールカードの情報が少し違っていた。
- ・初めてだったので特にありませんが、訓練は続けていった方がよいと思います。今回は範囲が町内だったので発見が早かった。
- ・発見時の報告要領等も必要と思われます。いつ、どこで（住所、めぼしい建物等）、誰が、どのような状況で発見されたのか等。

# 田村市高齢者おかえり支援事業

## 【反省点】

- 配信されたメールとメールカードの情報が違っていた。
- 発見時の通報のやり方をレクチャーしていなかった。
- 一番最初に見つけないと声掛けできないと勘違いされた参加者がいた。

## 【今後の方針】

- 各地域で徘徊模擬訓練を開催し、市内全域におかえりネットワークを広めていく。